西田昌司議員、東京政経セミナー大盛況！

講師の藤井聡氏、「デフレ脱却の処方箋」で講演

TPP絶対阻止！でも内閣不信任案は政局になるからイヤ？民主議員本音

自民党参議院議員・西田昌司氏は7日、第二回東京政経セミナーを永田町の憲政記念館で開催、現在最大の政治テーマとなっているTPP問題について藤井聡京都大学教授を招いて「デフレ脱却の処方箋」をテーマに講演会を開催した。

この東京政経セミナー、第一回は西部邁氏を招いて実施したが、実は純粋な氏の政治資金パーティー。通常の政治家が行うホテルの宴会場でのパーティー形式をとらないのは、挨拶だけで終わってしまい内容のある話が聞けないからと、このようなセミナー形式を取っており、今回は200人近くが来場するなど、補助椅子まで出す人気ぶりだった。

最初に西田昌司氏は、「本日二時から、TPPに反対する超党派の議員が反対決議を行った。しかし、決議を行っても野田首相がやるといえば進んでしまうのですね。そこで私は一人手を挙げて、本気で阻止しようとするなら、決議だけでは不充分で、進めようと言う首相に対する内閣不信任案、あるいは参議院での問責決議案までやるべきだと訴えたのです。すると民主党でTPPに積極的に反対している議員が、西田さん、そこまでやったら政局になっちゃう、というのですよ。」（会場笑い）などと語り、体を張ってまで阻止する雰囲気ではないことを報告していた。

挨拶を行った西田昌司議員と爆笑を誘った藤井聡京大教授。

西田氏は、参議院での鋭い国会質疑だけでなく、定期的に発効するビデオレターや動画・超人大陸への積極的な出演等々で、ネットでは一番身近な議員としてお馴染みの存在。今回も、「TPPには絶対に反対するが、問題の基本は日米貿易摩擦。それなら世界一の外貨保有を誇る日本が、アメリカから兵力を輸入すればよいのです。今回のTPP問題は、正しい梶を切れば、戦後の枠組みを打破する良いチャンスにもなると思う」などと語り、参加者から盛大な拍手を集めていた。

つづいてマイクを握った藤井聡教授は、吉本の漫才も真っ青というくらいの軽妙なトークで会場から爆笑を浴び、本題に入ったのは最後の十数分前という面白さ。以下で収録したレジメにそって熱い講演を行った。

最後に、「皆さんには被選挙権があります。日本が危ないと感じたら、皆さんが政治家になって良くする義務があるのです。しかし、それが出来ないなら、信頼できる政治家を応援すべきです。その政治家とは、ここにいる西田昌司さんしかありません。皆で応援しましょう！」と締めくくった。

（ニュース調、ここまで）

憲政記念館の会場は補助椅子まで出すほどの参加者で賑わいました。

参加された皆さま、実に有意義なセミナーでしたね。私はスケジュール的に大丈夫と分かったのが昼前で、あわてて電話で参加申し込みをし、受付で参加費を払って入場しました。セミナーの前に西田議員に名刺を出して挨拶したところ、私のブログをご存知だったようで嬉しかったです。直接ご案内を頂いてましたし、動画を拝見するたびにこのセミナーへの参加をアピールしていたので、ここで行かなかったら男じゃないと、連日のデモの取材で疲れていたのですが、参加して良かったです。

質疑応答の時間になって何人かが手を挙げていましたが、質問ではなく自分の考えを延々と語る人が多くて参りました。限られた貴重な時間ですから、質問は簡潔に短くと言う原則を守って欲しいと思いましたが、お二人とも丁寧に答えていたのが印象的でした。ビデオカメラが廻っていたので、後日動画でアップされるかも知れません。とりあえずのご報告でした。以下、当時配布された講演資料を収録しました。

TPPは列島脆弱化計画！

京都大学・藤井聡　【超人大陸】　2011.10.31

『花うさぎの「世界は腹黒い」』お勧め動画
☆マスコミが報じない正しい歴史、日本が好きな人は必見！☆
「凛として愛」「氷雪の門」「誇り～伝えよう日本のあゆみ～」
「めぐみ」「日本がアジアに残した功績」「真実はどこに…」

わからない事は
調べましょう！
検索

☆iza ブログランキング☆
【全体】４位　【政治】１位
（2011年10月8日時点）

西田昌司議員、東京政経セミナー大盛況！

講師の藤井聡氏、「デフレ脱却の処方箋」で講演
TPP絶対阻止！でも内閣不信任案は政局になるからイヤ？民主議員本音

2011年11月7日
参議院議員西田昌司第二回東京政経セミナー（配布資料）

日本は今、本当に亡びつつある。
政治の力が今こそ必要

京都大学　藤井聡

＜1＞現在の日本の政治に於ける最大の課題は、
①深刻に求められている公共投資のための大規模財政出動を行い、（財務省対策）
②それにあわせた大胆な金融政策（国債買いオペ）を行うこと、（日銀対策）
　これを通して、
　「デフレを脱却して、経済成長を果たす」
　ことができれば、

1）　復興（＝これが無いと、被災地を放置することとなる）
2）　国土強靱化（＝これが無いと、首都直下地震・西日本大震災が生ずる）
3）　財政再建
4）　失業率対策
5）　格差社会対策
6）　円高対策(日本人が必要なモノの輸入増→円安→日本が得意な輸出産業が伸びる)
7）　需要と供給の強化→国際競争力の強化→自由貿易促進→世界経済牽引→世界を救う！
8）　高齢化対策(社会保障費確保＋生産性向上による、高齢化による供給不足に対応可)
9）　人口減少対策
10）国際的プレゼンスの確保（強大なGDPを持つことそれ自体がプレゼンス強化）

　など、良いことづくめ。

＜2＞だから、今、これをすることこそが、
後世の日本人と世界人のために、平成日本人が負っている債務。

会場で左の本を購入したら右のＤＶＤをサービスしてくれました。

＜3＞しかし、今、政局も世論も学会も官界も、その真逆の潮流（激流）をかたち作っている。
　少子高齢化の今、デフレは仕方ないし、
　政府の借金が膨らみに膨らんだ今、
　内需拡大による経済成長なんて無理、
　だから、外に打って出るしか、日本の活路はない…
　という雰囲気が、日本中に蔓延。
→だから、TPPと言われている
（それに加えて、TPPについては「輸出を増やして利益になる大企業／省益を守りかつ出世できる官僚／選挙資金が得られかつ米国に媚びを売りたい政治家／自分の学説を守れる学者／スポンサーが欲しくかつ特定のイデオロギーに染まった大手メディア…等「TPPで得をする人々」が、明確なウソをツキながら、TPP賛成に世論を誘導しようとしている疑いが濃厚（無論、他者の“意図"を証明することは不能）。もしそうであるなら、こういう行為は一般に“詐欺”と定義可能。また「外国に国内市場を売り渡す事を通して利益を得ようとしている」と解釈すれば、定義上その行為を売国と定義することも可能）

＜4＞しかし、そんな事を続けていては、本当に「経済成長できない国」になってしまう。
1）TPPに入れば、日本の様々な国内産業（農業、建設、保険、医療）が直接被害＋デフレ促進によって、全ての国内産業が被害を受ける（大企業、放送局も例外でない）。
→日本経済は間違いなく「脆弱化」する
2）経済の国境がなくなれば、「財政政策による国民経済対策」が不可能となる。（→「マンデル・フレミング理論」の世界に近づいてしまう）。

＜5＞だから、本日11月7日時点における最大の政治課題は
TPPの阻止

頑張ってます！
抗議の座り込み続行中

民主党本部まで座り込みを続ける有志の皆さん
（7日20時ごろ撮影）

突然実施を表明した「日韓通貨スワップ5兆3600億円」の報道以来、民主党本部前の保守有志による座り込みが続いている。6日に実施された原宿でのフジテレビ抗議デモのあとは、デモ終了後40人ほどが駆けつけてくれたと言う。

現在は通貨スワップだけでなく、TPPをはじめ民政党政権そのものに対する抗議に替わっており、この動きは大阪でも行われているという。参加者の一人は、２ちゃんえるで情報交換しながら、途切れることのないよう、入れ替わりで行っているが、この動きが全国に波及してくれれば民主党政権に打撃を与えられると思う、などと語っていた。

＊写真・動画・イベント情報・関連リンク先などは是非、ブログにてご覧下さい！

『花うさぎの「世界は腹黒い」』お勧め動画
☆マスコミが報じない正しい歴史、日本が好きな人は必見！☆
「凛として愛」「氷雪の門」「誇り～伝えよう日本のあゆみ～」
「めぐみ」「日本がアジアに残した功績」「真実はどこに…」

わからない事は調べましょう！ 検索

☆iza ブログランキング☆
【全体】４位　【政治】１位
（2011年10月8日時点）